

ヨード造影検査を受けられる方へ

1. 造影検査とは

ヨード造影剤を静脈注射しながら行う検査です。これにより病気の状態をより正確に診断することが可能となり、治療方針の決定に役立ちます。

2. 造影剤検査の副作用や合併症につきまして

造影剤の改良とともに副作用の頻度は低下しており、そのほとんどは軽症であり検査直後（1時間以内）が大半であります。

ただ重症の副作用をきたす可能性もあることをご理解していただく必要があります。万一、副作用が生じた場合には迅速に処置を行えるように万全の体制を整えております。

①副作用

1) 軽い副作用：吐き気、動悸、かゆみ、発疹などが5%以下の割合で見られます。

2) 重い副作用：血圧低下、呼吸困難、意識障害などが0.1%以下の割合みられ、非常にまれではありますが、0.001%以下の割合で死亡例が報告されております。

②合併症

造影剤を急速に血管に注入するため、血管外に造影剤がもれることがあります。その場合には腫れて痛みを感じる場合がありますが一般的には数日以内に吸収されて治癒します。症状が強い場合には診察が必要になる場合があります。

3. ヨード造影剤の禁忌

ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往、重篤な甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症）の方は重い副作用が発生する可能性があり造影剤を使用できません。

また喘息、腎機能の低下、骨髄腫、重篤な心疾患、妊娠中・授乳中の方、糖尿病薬（ビグアナイド系）内服中、体の状態が極度に悪い場合には造影剤検査ができない場合があります。

4. 検査時の注意

造影剤の注射中に体全体が熱く感じることがあります。すぐに症状はおさまりますので心配ありませんが、注射中に針の周囲が痛い場合にはただちにお知らせください。